

2026 年 10 月吉日

日本臨床腫瘍学会 各位

公益社団法人日本臨床腫瘍学会
理事長 吉野孝之

『大腸癌・婦人科癌治療における Lynch 症候群診断の意義に関する見解書』
パブリックコメントご協力のお願い

謹啓

日本臨床腫瘍学会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

がんゲノム医療の進展に伴い、日常のがん診療において Lynch 症候群をはじめとする遺伝性腫瘍が疑われる患者に遭遇する機会が増えています。遺伝性腫瘍の診断は、原因遺伝子に応じた治療方針の選択やサーベイランスなど、その後の診療にも関わる重要な情報となります。

このたび、本学会では、日本遺伝性腫瘍学会、日本癌治療学会、大腸癌研究会、日本婦人科腫瘍学会で策定しております『大腸癌・婦人科癌治療における Lynch 症候群診断の意義に関する見解書』に協力学会として参加し、評価委員による外部評価を実施いたしました。

本見解書の内容をより適切かつ有用なものとするため、作成学会と合同で広く会員の皆様からご意見を伺うこととし、下記のとおりパブリックコメントを募集いたします。

会員の皆様におかれましては、ぜひ草案をご確認いただき、日常診療や専門的な観点から幅広くご意見をお寄せくださいますようお願い申し上げます。皆様から頂戴したご意見は、今後の見解書の取りまとめにあたり参考とさせていただきます。

本件についてご不明な点等がございましたら、以下までお問い合わせください。
日本癌治療学会事務局 office@jsco.or.jp

謹白

記

以下より、『大腸癌・婦人科癌治療における Lynch 症候群診断の意義に関する見解書』の草案をダウンロードのうえ、ご確認ください。

<https://hmas043811.sharepoint.com/:b:/s/ganchi/IQD4b0HXP0XCSqWtsVyG54yuAQgd3L599oQgFTgcEkprLro?e=glp19U>

※ファイルサイズが大きいため、表示・ダウンロードに時間がかかる場合がございます。

草案に関するご意見は、以下の Web フォームよりお寄せください。

<https://www.secure-cloud.jp/sf/business/1791520914AvjKsCbC>

※パブリックコメント募集期間：2026 年 10 月 23 日～2026 年 11 月 13 日